

## 第1回 ポスト・コロナの市民連帯を展望する研究会

### <記念講演>

日時：2021年 7月 31日(土)

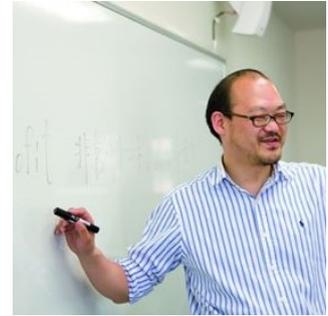
13時 30分 ~ 16時

場所：生活クラブオルタナティブ生活館

(新横浜駅下車徒歩13分)

※オンライン併用

講演：藤井 敦史さん 立教大学教授／社会的企業研究会会長



### <講演テーマ>

## 社会的連帯経済はいかにして発展可能か —韓国ソウルの事例を中心に—

コロナ禍において、今日、失業問題や貧困問題が激しさを増していますが、こうした社会問題の背後には、人々を孤立させ、人々の生活と環境を破壊する新自由主義的な資本主義のメカニズムが存在しています。しかし、一方で、こうした新自由主義的なシステムに対するオルタナティブな経済のあり方として社会的連帯経済が世界的に注目されています。社会的連帯経済とは、一言で言えば、地域コミュニティを基盤に多様な連帯関係を紡ぎ出しながら、「共的領域」としてのコモンズを拡大し、人々の生命や生活を支えるサブシステム・エコノミーと言えるでしょう。今回の報告では、以上のような社会的連帯経済が具体的にどのような可能性を持っており、どのようにして成り立ちうるのか、主として韓国ソウルの事例を扱いながらお話ししたいと思います。

#### プロフィール

#### プロフィール

1967年生まれ。神奈川県逗子市ハイランドに育ち、大学3~4年の時池子米軍住宅反対運動に関わる。修士論文は生活クラブの代理人運動。女性たちの政治参加・政策提言活動のみならず地域で市民事業を創り出す姿勢に共感したという。阪神淡路大震災の時の神戸でのNPO・NGOの実践現場での学びが、現在の「社会的企業」<社会的連帯経済><コミュニティ・ビジネス>の研究に結びついているという。2000年代に入ってから英国の社会的企業、イタリアの社会的協同組合、韓国の社会的経済等、国際比較研究を行っている。日本でも、ワーカーズ・コレクティブ、ワーカーズ・コープ、協同組合、NPOなど地域社会の多様なアクターのフィールドワークを行っている。主宰している社会的企業研究会は2005年の立ち上げから、110回を超える研究会を実施している。

### 7月31日記念講演のオンライン参加の募集

【連絡先】公益財団法人かながわ生き生き市民基金

先着50名

下記アドレスに氏名、所属等、メールアドレスを送ってください。

Mail : [info@lively-citizens-fund.org](mailto:info@lively-citizens-fund.org)

## 研究会の開催目的・・・呼びかけ文から

一年前を振り返ると、コロナ情報がテレビ・新聞・ネットニュースから一方的に流され、感染リスクが高い仕事、医師や看護師など医療現場で働いている人や家族に対する社会的忌避（子どもを保育園に預けられなくなる等）が起きました。隣の人のことを気にすること、地域で何が起きているか、議論することが殆ど無くなりました。ココの関係は分断され、「公共空間」が衰退し、権力（行政・政治）が剥き出しになって社会をコントロールし始めました。「不要不急」が上から決められることに抗しがたいムードがつかられ、感染すること自体が罪悪視される風潮が強まりました。コロナ禍が市民社会に与えた影響の一番は、公共空間・言論空間の弱体化だと、私は考えます。それは民主主義の後退であり、1年経った今も続いていると言わねばなりません。

しかし一方で、コロナ禍にあっても、課題解決に取り組む市民団体が増えています。食の分かち合い運動（フードバンクやフードパントリー）、子どもの教育への地域的取組み（無料学習支援）、社会的孤立への支援（ひきこもり支援・DV被害者支援）など、制度的な解決が及んでいない課題解決に多くの団体がチャレンジしています。これらの活動は市民社会のこれからとて大いなる希望です。

中間支援組織はこれら活動の現場をエンパワメントする役割を担っています。ポスト・コロナの時代、県内の中間支援組織は、どのような役割・機能を発揮できるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

## = 今後の開催予定 =

### 第2回

日 時：2021年9月11日（土）13時30分～16時 ※オンライン併用  
場 所：オルタナティブ生活館 5Fまなびや  
講 師：岡田百合子さん（ワーカーズ・コレクティブ協会 副理事長）  
テーマ：（仮題）就労準備支援事業「はたらっく・ざま」の実践と今後の展望

### 第3回

日 時：2021年10月2日（土）13時30分～16時 ※オンライン併用  
場 所：オルタナティブ生活館5Fまなびや  
講 師：藤田誠さん（フードバンクかながわ事務局長）  
荻原妙子さん  
（フードバンクかながわスタッフ／かながわ市民基金地域連携コーディネーター）  
テーマ：（仮題）コロナ禍のフードバンク運動の実践と今後の展望

### 第4回

日 時：10月30日（土）13時30分～16時 ※オンライン併用  
場 所：オルタナティブ生活館 5Fまなびや  
講 師：小林幸治さん（認定NPO法人まちぽっと事務局長）  
テーマ：（仮題）休眠預金を活用した市民団体支援活動の現状報告と中間支援組織の今後のあり方について

### 第5回

日 時：2021年11月20日（土）13時30分～16時 ※オンライン併用  
場 所：オルタナティブ生活館 5Fまなびや  
講 師：池田誠司さん（横浜市社会福祉協議会地域福祉担当部長）  
テーマ：（仮題）コロナ禍で横浜市社協が取り組んだ生活弱者（ひとり親・大学生）支援と食料支援活動の今後の地域的展開について

### 第6回

日 時：2021年12月4日（土）13時30分～16時 ※オンライン併用  
場 所：オルタナティブ生活館 5Fまなびや  
講 師：鈴木健一さん  
（特非）まちづくり情報センターかながわ（通称アリスセンター）理事  
テーマ：（仮題）ポスト・コロナ時代のNPOの課題と展望